



商 団 連

第360号

令和7年8月1日



発行所

全国卸商業団地協同組合連合会

東京都港区赤坂5-1-3 1

第6セイコービル4階

電話03-6807-4335

編集発行人 原田 芳憲

第58回通常総会をホテルニューオータニで開催

講演会は外交経済評論家 元大韓民国特命全権大使の武藤正敏氏による
「韓国の内政と日韓関係への影響について」という演題で実施



商団連の第58回通常総会が、6月24日（火）、東京都千代田区のホテルニューオータニ「悠の間」において、会員88名（本人出席50名、委任状出席38名）が出席して午後1時30分から開催されました。

初めに、福井弘会長から「国内景気は改善基調にある一方、トランプ関税の導入や国際紛争の長期化等景気に水を差す事態となっている。また、国内での少子化問題、地方では更に深刻な人口減少の問題があり、卸商業団地を取り巻く環境は厳しいものとなっている。商団連は関係諸機関の皆様の一層の協力をいただき、会員組合との「絆」を一層強め、緊密な連携の下、卸商業団地の更なる発展のために、引き続きその役割を果たしていく。」と開会の挨拶が行われました。

引き続きご臨席のご来賓、中小企業庁山下隆一長官、独立行政法人中小企業基盤整備機構宮川正理事長及び株式会社商工組合中央金庫関根正裕代表取締役社長からご挨拶をいただきました。

ご来賓のご挨拶の後、福井弘会長を議長に選出し、議案の審議に移りました。第1号議案の令和6年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書及び剰余金処分（案）について承認を求める件は、伊藤三郎専務理事から原案の説明が行われた後、辻監事から監査結果の報告があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり承認されました。第2号議案の令和7年度事業計画（案）・収支予算（案）、第3号議案の令和7年度賦課金及び徴収方法（案）について承認を求める件、第4号議案の役員報酬、第5号議案の借入金残高の最高限度額についての4議案が一括上程され、伊藤三郎専務理事から原案の説明が行われ、審議された結果、いずれも原案どおり承認されました。

通常総会終了後、午後3時から、外交経済評論家 元大韓民国特命全権大使武藤正敏氏による「韓国の内政と日韓関係への影響について」という演題で講演会が行われました。

出席者からは、「興味深い話が聞けた。日韓関係は非常に重要と思う。李在明新大統領は現実路線で行くのではと聞いて少し安堵した。」「インバウンドでたくさんの韓国の方が来日しているが、その方たちが日本の実情を知り、文在寅政権の反日政策が間違っているということに気が付いたということは大歓迎。」「日韓は置かれている立場が似通っているので、協力し合わないといけない状況にある。反日・嫌韓だと反発ばかりしていてもだめと思う。」との感想がありました。

講演会終了後、会場を「翔の間」に移し、午後4時40分から懇親会が行われました。福井弘会長の開宴挨拶に続き、全国卸商業団地対策議員懇話会宮沢洋一会長（参議院議員）、中小企業庁経営支援部岡田智裕部長から挨拶をいただきました。ご来賓のご挨拶の後、独立行政法人中小企業基盤整備機構茂木文雄副理事長のご発声により乾杯が行われ、懇親会が始まりました。懇親会では参加された全国卸商業団地対策議員懇話会の議員の皆様から商団連に対しての応援のメッセージをいただきました。和やかな歓談の後、夏目潔副会長の締めで閉会となりました。

当日の主なご来賓は次のとおりです。

▽全国卸商業団地対策議員懇話会（名簿順・敬称略）

衆議院議員（本人出席）鈴木俊一、福田達夫、黄川田仁志、塩崎彰久

参議院議員（本人出席）宮沢洋一（懇話会会長）

▽中小企業庁 山下隆一（長官）、岡田智裕（経営支援部部長）、伊奈友子（商業課課長）

▽中小企業基盤整備機構 宮川正（理事長）、茂木文雄（副理事長）、平泉洋（理事）、橋本孝（高度化事業部部長）

▽商工中金 関根正裕（代表取締役社長兼社長執行役員）、牧野秀行（取締役副会長）、中塩浩幸（常務執行役員）、高原清志（融資部長）、花谷智隆（ビジネス企画部長）、荒井哲郎（秘書室長）

▽全国中小企業団体中央会 田上宏運（事務局長）、菱沼貴裕（振興部長）

▽住友生命保険相互会社 堀江喜義（執行役常務）、永井健司（公法人部部長）



令和7年新春セミナー・賀詞交歓会を開催 ホテル雅叙園東京 ～ 新春セミナー講師に商工中金 山口常務執行役員 ～

令和7年1月16日（木）、東京都目黒区のホテル雅叙園東京において、「新春セミナー」及び「賀詞交歓会」が開催されました。新春セミナーでは、株式会社商工組合中央金庫常務執行役員（元日本銀行検査室長）の山口智之氏を講師にお迎えし、「新年の金融経済動向と人的資本経営」というテーマでご講演いただきました。

講演では、国内外の経済指標に基づき、これまで長く続いてきた「低成長・人口減少・デフレ・低金利経済」から、直近3年間においては「消費者物価の上昇 → 賃金上昇 → 金利上昇」という変化が見られ、現在は変革期にあるとの見解が示されました。一方で、実質経済（物価上昇の影響を除いた経済成長率）は依然として低成長が続いており、企業価値や生産性の向上に向けた設備投資（特にIT投資・省力化投資）や人的資本への投資が、十分に行われてこなかったことが課題であるとの認識が示されました。

翌週に予定されている日本銀行の金融政策決定会合において、政策金利の引き上げが予想される中、参加者からは「為替の動向について非常に参考になった」、「株式相場や金利について常に関心があるが、今回の講演は非常に興味深かった」などの感想が寄せられました。

続いて開催された賀詞交歓会では、冒頭、福井会長から、「トランプ大統領の再登板により、世界経済の混乱が予想される中、卸売業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。このような状況下において、ピンチをチャンスに変えるためには、各地域において経済の中核的役割を担う会員組合が、強いリーダーシップを発揮することが求められる。当連合会は、会員組合の皆様が抱えるさまざまな課題の解決や、組合組織の活性化を支援することを使命としている。本年も、関係機関のご支援を賜りながら、会員組合の皆様の発展に寄与できるよう、全力を尽くしてまいりたい所存である。」と挨拶が行われました。



続いてご来賓としてご臨席いただいた、中小企業庁経営支援部長の岡田智弘氏、独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長の宮川正氏より、それぞれご挨拶をいただきました。

さらに、全国卸商業団地対策議員懇話会の会長に新たに就任された参議院議員の宮沢洋一氏からの祝電が披露されました。

その後、株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長の関根正裕氏によるご挨拶と乾杯のご発声をもって、祝宴が開宴となりました。祝宴では、参加者同士の和やかな歓談が続き、盛会のうちに終了いたしました。

令和6年度第2回事務局長会議が開催（東京） 57団地60名が参加

令和7年3月14日（金）、東京都千代田区の全国町村会館において、令和6年度第2回商団連事務局長会議が開催されました。本会議には中小企業庁、独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社商工組合中央金庫など関連諸機関から多くのご来賓をお招きするとともに、全国各地から57団地60名が出席しての開催となりました。

午前の部では、薦永英明代表世話人（（協）ベイタウン尾道）の挨拶の後、全員協議会が行われました。

全員協議会では、令和6年度事業及び収支報告（中間）、令和7年度事業計画案及び収支予算案、令和7年度会費徴収案、世話人交代による選出が審議され、いずれも原案どおり承認されました。続いて開催された臨時世話人会では、及川副代表世話人（（協）熊谷流通センター）の退任に伴い、新たに相田世話人（高崎卸商社街（協））が副代表世話人に選出されました。

全員協議会終了後、中小企業庁、中小機構、商工中金、年金基金、住友生命からそれぞれの施策について説明が行われ、続けて商団連事務局から各種報告が行われました。

昼食をはさみ午後の部では、（協）一宮繊維卸センターによる「卸商業団地機能向上支援事業」に関する事例発表、トラブル事案の事例発表が行われた後、PrimoPinguino 株式会社代表取締役の木下峻一氏を講師に迎え、「中小企業の採用計画と人材定着セミナー」が開催されました。



中小機構からのお知らせ

売上高100億円を目指す企業を支援します
～成長加速化トータルサポート～



補助金・経営者ネットワーク・税制優遇・トータルサポートで企業成長を後押し！

全国で挑戦を続ける中小企業の中には、「売上高100億円」という野心的な目標を掲げ、成長戦略を描く企業も増えています。こうした企業を後押しするため、中小機構では、中小企業庁と共に、「100億宣言」と「中小企業成長加速化補助金」を柱とする新たな支援を開始しています。

「100億宣言」は、中小企業が「売上高100億円」を自ら目標として掲げ、その実現に向けた実行計画を提示するものです。あわせて、成長に向けた大型投資や賃上げ等を行う企業に対し、最大5億円の補助を行う「中小企業成長加速化補助金」も設けられています。

ポイント①「100億宣言」

経営者自らが「売上100億円」を目標に掲げる宣言制度。宣言には現状・課題・施策・実施体制・経営者メッセージの明記が必要になります。宣言企業には以下のようなメリットがあります。

メリット(制度内容)	内容と要件(概略)
中小企業成長加速化補助金の申請要件の一つを満たします	・最大5億円補助(補助率1/2) ・投資1億円+賃上げ計画が条件
税制優遇(E類型)の申請要件の一つを満たします	・2025年6月～拡充適用開始 ・一定の成長投資に対し即時償却等
経営者ネットワーク	・経営者間の交流、各種支援に係る情報提供

※「100億宣言」公表企業は、以下の公式ロゴの活用も可能
 (名刺・ウェブ等でPR)



ポイント② 最大5億円！『中小企業成長加速化補助金』

項目	内容(概略)
対象者	売上高100億円を目指す中小企業
補助額(補助率)	補助額: 最大5億円(補助率1/2)
対象経費の区分	建物費、機械装置費、ソフトウェア費、外注費、専門家経費
補助対象要件	①「100億宣言」を行っていること ②投資額1億円以上(専門家経費・外注費を除く補助対象経費分) ③一定の賃上げ要件を満たす今後5年程度の事業計画の策定
申請方法	電子申請(jGrantsを利用)
補助事業期間	交付決定日から24か月以内

関連リンク

■100億企業成長ポータル



今後のスケジュール

■100億宣言

申請受付期間: 2025年5月8日(木)～

■中小企業成長加速化補助金

1次公募の申請受付は終了しています。

1次公募の終了後に2次公募を行う予定です。

申請には100億宣言の公表が必須となります。

■宣言企業一覧



■経営強化税制(E類型)について



■成長加速化トータルサポート



**経営者ならではの悩みを、
相談できる場所があります。**

創業

販路拡大

生産性向上

SDGs

人材育成

事業継続(BCP)

事業承継



ご相談は、お近くの中小機構の窓口へ。

中小機構 お問い合わせ先一覧

本部: TEL.03-3433-8811

北海道本部: TEL.011-210-7470

東北本部: TEL.022-399-6111

関東本部: TEL.03-5470-1509

中部本部: TEL.052-201-3003

北陸本部: TEL.076-223-5761

近畿本部: TEL.06-6264-8611

中国本部: TEL.082-502-6300

四国本部: TEL.087-811-3330

九州本部: TEL.092-263-1500

沖縄事務所: TEL.098-859-7566



商工中金、ついに完全民営化へ

商工中金の民営化は2006年、小泉政権下で打ち出された行政改革の一環として始まりました。リーマン・ショックや東日本大震災など幾度もの社会的・経済的混乱により延期されてきましたが、2023年の法改正を経て、2025年5月に政府保有株式の売却が完了しました。これにより名実ともに民間金融機関として新たなスタートを切ることになります。

2025年6月に開催された商工中金の定時株主総会では、地域金融機関や組合団体の株主から「これまでの協同組織金融としての立場を活かしてほしい」との意見が多く寄せられ、今後も組合との更なる連携強化が期待されています。

完全民営化に伴い、商工中金は業務の自由度を高め、新たな収益源の模索を進めています。従来どおり中小企業への金融支援は継続されつつ、DXやGX支援など、時代に即した事業展開が期待されます。

「中小企業の伴走者」としての役割を堅持しながら、真の民間金融機関としてさらなる成長が求められる商工中金。その動向は、引き続き多くの関係者の注目を集めています。

「商工中金ヒューマンデザイン」の取り組み ～人を軸にした新たな中小企業支援～

商工中金グループは、いま改めて「人」の価値に着目し、専門子会社である株式会社商工中金ヒューマンデザインを通じて、中小企業の人材面を支える新たな支援を展開しています。

人手不足や離職率の上昇といった経営課題が深刻化する中、「社員の幸せ」が企業価値の源泉となる時代が到来しています。こうした社会課題の解決をめざし、同社は経営人材の紹介や人材育成プログラムの提供を行う専門子会社として、2024年に設立されました。

商工中金のビジネスコンテストから生まれたサービス「幸せデザインサーベイ」を活用し、対話を重視した課題特定から、人材紹介・育成支援に至るまで、一貫したソリューション提供を全国で展開しています。

同社では本サーベイの実施に加え、「ボトムアップでのアクションプラン策定・実行のフォロー」や「マイパーパスの言語化」、「マネージャー向けワークショップ」など、人材育成支援プログラムも幅広く提供しています。さらに、経営層や専門人材の紹介サービスにも対応し、人と組織の成長を多角的に後押ししています。ぜひ、ご活用を検討ください。

◎幸せデザインサーベイ ～働く人の“幸せ”を見える化する～

同社では、社員一人ひとりの「幸せ」を軸とした組織づくりを支援する画期的なサービス、「幸せデザインサーベイ」を展開しています。「幸せデザインサーベイ」は、従業員の幸福度を97の観点から多面的に測定し、その結果をレーダーチャートなどで可視化するツールです。

「やりがいを感じているか」「信頼できる上司がいるか」「将来の展望があるか」など、働く人の心理的・社会的な充実感を細やかに捉えます。この結果をもとに、経営者や人事担当者が組織の強みと課題を把握し、エンゲージメント向上や定着率改善へとつなげることができます。



◎会社概要

会社名	株式会社商工中金ヒューマンデザイン
所在地	東京都中央区八重洲2丁目10番17号 (商工中金本店内)
資本金	5,000万円
株主	商工中金100%出資

◎事業内容

- ・中小企業向けの人材紹介（経営人材・専門人材の紹介）
- ・人材育成プログラムの提供
- ・従業員の幸福度を可視化する「幸せデザインサーベイ」の展開
- ・経営者との対話を通じた課題特定とソリューション提供

**商工中金の
中小企業組合支援**

個々の企業では解決できないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、1936年の設立以来、一貫して組合・組合員の価値向上に取り組んでいます。これまでも、これからも、商工中金は、組合運営のフォローや補助金等の情報提供、ご融資を通じて、組合が手がけるさまざまな共同事業の円滑な発展をサポートしていきます。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。



人を思う。未来を思う。

商工中金

本店

〒104-0028

東京都中央区八重洲2丁目10番17号

基金からのお知らせ

全国卸商業団地企業年金基金 令和6年度決算状況

令和6年度 年金経理 収支状況

(令和6年3月1日～令和7年2月28日 単位:百万円)

運用収益他 80	老齢給付費 377
掛金収入 1,062	脱退一時金 147
	遺族一時金 13
	業務委託費他 38
	不納欠損 7
	責任準備金 増加額 323
	当期剰余金 237
収 入	支 出

令和6年度 年金経理 財政状況

(令和7年2月28日現在 単位:百万円)

預貯金 1	責任準備金※ 2,313
未収掛金 189	未払給付費 55
年金資産 4,695	別途積立金 2,280
	当期剰余金 237
資 産	負 債

※責任準備金とは、将来の給付のために現時点に必要な積立金です。
当基金は責任準備金を大きく上回る年金資産を有しており、健全な積み立て状態を維持しています。

- ・全国卸商業団地企業年金基金は、卸団地で働くみなさまの退職後の所得の充実を図るため設立されました。
- ・令和7年2月末現在、648事業所、14,677人のみなさまにご加入いただいています。
- ・令和6年度は、1,025人に年金をお支払いするとともに、994人の退職者等に一時金をお支払いしています。

確定給付企業年金のメリット

- ▶ 掛金は損金算入できます。
- ▶ 積立金は年利1.5%(複利)で積み立てられます。
- ▶ 平準的に積み立てることで資金繰りが安定します。
- ▶ 従業員が給付を受ける際には、退職所得控除もしくは公的年金等控除が受けられます。
- ▶ 退職金積立のコスト負担が軽減できます。



パンフレット

新規加入を随時受付ています。ぜひ、ご検討ください。

(お問合せ) 全国卸商業団地企業年金基金 TEL 03-3560-7017 FAX 03-3560-3054

〒107-0052 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階 ホームページアドレス(URL) <https://www.oroshikikin.jp>

住友生命からのお知らせ ※広告 ～健康課題解決のお手伝いを通して活力ある職場作りを応援します～

住友生命では「ウェルビーイング」をキーワードに経営課題解決に向けた以下のソリューションをご提供しております。

健康経営ポート

「健康経営コンサルティング」

健康経営優良法人認定に向けた情報提供およびサポート

各種セミナー

「健康増進セミナー」

従業員の健康増進への行動変容を促します。

「新入職員マナーセミナー」

新入職員等を対象に社会人としてのマナーを学びます。

「ライフプランセミナー」

生活設計・資産形成の意欲喚起となります。

「セカンドライフセミナー」

定年退職後準備への意識付け

「商団連グループ保険」

割安な経費で死亡退職金・弔慰金制度を実施できます。

「商団連3大疾病グループ保険」

3大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)に罹患し、所定の条件に該当した場合に保険金をお支払いします。

福利厚生制度

「全国卸商業団地企業年金基金」
(退職金制度)

お手頃な掛金から退職金制度を始められます。商団連会員組合の組合員企業のための制度です。

「Vitality 福利厚生タイプ」

Vitality 健康プログラムを活用して、従業員の健康増進・運動習慣の改善に関する「自発的な取組」をサポートするサービス(スマホアプリ)です。また、経営者のリスクもサポートします。

繁栄ドクターGO(医療保険)

日帰りから長期の入院、1000種類以上の手術を幅広く保証します。

繁栄エンブレム新長期プラン

98歳までの長期間にわたり死亡時の大型保障をご準備いただけます。また、解約返戻金を企業のニーズにあわせて、事業保障資金、退職慰労金等にご活用いただけます。

ビジネスキーパー(事業活動総合保険)

自然災害や感染症等さまざまなリスクをまとめて補償する火災保険

ビジネスプロテクター(企業総合賠償責任保険)

業種固有のリスクに幅広く対応する賠償責任保険

会員組合の役職員の皆様 傘下組合員の経営者・従業員の皆様へ

※提携先

あなたの未来を強くする

商団連福祉共済会からのお知らせ



中小企業が採用競争を勝ち抜くために、共済による福利厚生強化を

①今、人手確保は「売り手市場」。福利厚生が差をつける時代です

中小企業でも、他社と差をつけるには給与だけでなく「安心・安定」を感じさせる制度が必須です。

- ・全国「新規求人倍率」は約2.30倍、「有効求人倍率」は1.31倍と高水準で、求職者に有利な市場環境が続いています。
 - ・特に20代以下の若手層では、企業選びにおいて「福利厚生を重視する」という回答が半数に達しています。
- 出典：「企業における福利厚生施策の実態に関する調査」（独立行政法人労働政策研究・研究機構）

②実際に、福利厚生の充実が採用・定着実績に効果があります。

- ・経済産業省の報告では、「職場環境整備が進んでいる企業ほど、従業員数が増加傾向にある」という結果が明らかになっています。出典：2024年版 中小企業白書
- ・人材戦略として福利厚生を重視する企業は、従業員のモチベーション向上や業績アップにもつながっています。

③中小企業は大手に比べ、福利厚生に課題を抱えています。

- ・厚生労働省が実施した令和3年就労条件総合調査によると約70%の中小企業が法定外福利を実施していますが、大企業と比べると福利厚生費が少なく、制度内容も限定的である傾向があります。つまり、中小企業ほど「見せ方」次第で制度の価値を高められる大きな余地があるのです。

④特に「まさかの時」に備える共済制度は差別化の切り札

- ・慶弔・通院支援などは導入率が高い一方、「法定を超える保障（生命共済や疾病保障）」は導入率・利用率ともに低く、従業員にとっては手薄になりがちです。
- ・従業員に掛ける共済制度は、万が一の際の「安心感」を提供し、実際の福利として受け取る安心材料になります。
- ・共済加入企業は「人を大切にする」姿勢が明確になり、他社との差別化になります。

商団連の共済制度は半世紀以上にわたり皆さまにご愛顧いただいています

商団連福祉共済会は、商団連に所属する会員組合の組合員及びその従業員並びに事務局役職員を対象に「①商団連グループ保険」及び「②3大疾病グループ保険」の運営を住友生命保険相互会社と提携し行っています。

昭和46年（1971年）の制度発足以来、半世紀以上にわたり、多くの皆様にご愛顧いただいています。また、令和7年4月から「3大疾病グループ保険（会社掛）」が新たにスタートしました。

①商団連グループ保険で「死亡保障」が、②3大疾病グループ保険で「3大疾病での入院・通院の費用」がカバーされます。7ページの「2つの共済制度のご案内」も併せご覧ください。

○商団連の2つの共済制度について

①商団連グループ保険（会社掛）	②3大疾病グループ保険								
・災害保障特約が付いたシンプルな保障ですが、病気死亡、災害死亡のどちらでも支払い対象となり、24時間保障ですので、従業員の万一の時に備えたいが、経費を抑えたいという経営者の方にお勧めです。 ・全国規模のスケールメリットで、お手頃な掛金を実現しております。 ※令和6年度保険金・給付金の支払実績 ①支払保険金8件2,400万円 ②支払入院給付金4件13万円 合計2,413万円 ・さらに、商団連独自の祝金・見舞金制度を設けており、多くのご加入者にご利用いただいております。 ※令和6年度の見舞金・祝金の支払実績（商団連独自制度） 通院見舞金11件 入院見舞金13件 結婚祝金30件 出産祝金57件 合計111件	・3大疾病（がん、急性心筋梗塞、脳卒中）が対象の制度です。※死亡や高度障害の保障はありません。 ・3大疾病はいずれも入院での治療に加え、長期にわたる通院を余儀なくされるパターンが多いです。 ・仕事と治療の両立をはかるための資金のご準備にお役立ただけます。 ※疾病分類別の平均在院日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>疾病内容</th><th>平均在院日数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>悪性新生物（腫瘍）</td><td>19.6日</td></tr> <tr> <td>心疾患</td><td>24.6日</td></tr> <tr> <td>脳血管疾患</td><td>77.4日</td></tr> </tbody> </table> 入院日数が長引くほど、入院中の食事代や差額ベッド代など自己負担が膨らみます 出典:厚生労働省「令和2年患者調査」より作成	疾病内容	平均在院日数	悪性新生物（腫瘍）	19.6日	心疾患	24.6日	脳血管疾患	77.4日
疾病内容	平均在院日数								
悪性新生物（腫瘍）	19.6日								
心疾患	24.6日								
脳血管疾患	77.4日								

重要なお知らせ
商団連グループ保険
（告知内容の変更）

- ・商団連グループ保険（会社掛）につきまして、加入・増額時の告知内容が変更され、加入条件が大幅に緩和されています。☞ 今まで加入・増額できなかった方も再度ご確認ください。
- ※変更内容
 - ・個別の病気の該当確認は不要になり、病気や外傷で、現在又は過去に一定期間、欠勤の有無について告知する方法となりました。

商団連会員組合の組合員企業の皆様へ

2つの共済制度のご案内



商団連グループ保険<会社掛>

POINT
1

安心の24時間保障

業務内外を問わず保障します。
病気死亡のほか、不慮の事故による
障害・入院も保障します。



POINT
2

スケールメリットによる お手頃な掛金

1年ごとに収支計算を行い、
剰余金が生じた場合は
配当金が支払われます。

R6年度還付率
約40.1%

POINT
3

掛金は事業主負担で**損金** または**必要経費**に算入可能

死亡保険金は会社からご遺族にお支払いされます。

POINT
4

商団連独自の給付金制度

- 結婚祝金
- 出産祝金
- 通院見舞金
- 入院見舞金



告知が更に緩和されました。事業所一括告知でご加入いただけます。

令和7年4月からスタート

3大疾病グループ保険<会社掛>

POINT
1

**がん(悪性新生物)、急性心筋
梗塞、脳卒中**により約款所定
の条件に該当した時、保険金
を一時金でお支払い
(死亡や高度障害の保障はありません)

POINT
2

スケールメリットおよび
**死亡保障の無いシンプルな
保障につきお手頃な掛金**

POINT
3

掛金は事業主負担で**損金**
または**必要経費**に算入可能

保険金は保険会社から直接ご本人にお支払いされ
ます。(非課税)

POINT
4

**早期発見や治療支援、
復職支援の付帯サービス**

例:がんセカンドオピニオンサポートサービス、
重症化予防支援サービス「Mystar」



仕事と治療の両立を支援します!

お申込み・お問い合わせ

スミセイフリーダイヤル (法人サービス室)



0120-357224

全国卸商業団地協同組合連合会

※ご検討にあたっては「加入案内用パンフレット」を必ずご覧ください。

CG2025-0179

商団連会員サポートセンターの活用をお願い

※会員組合に限らず、組合員企業の皆様も是非、ご活用をご検討ください。

商団連では会員組合の皆様が抱える様々な課題の解決や活性化を支援するために「商団連会員サポートセンター」を設置し、以下の取組をしています。

①個別相談窓口の開設

・関係各機関（中小企業庁、中小機構、商工中金、全国中小企業団体中央会及び顧問弁護士等）と連携して、個別相談窓口を開設しています。令和6年度は、33件のご相談が寄せられました。相談内容は、組合運営、各種補助金、金融事業を始め多岐にわたっています。

②提携先（高松建設株式会社、株式会社コスモシステム）のご紹介

・商団連では「建築ニーズ」等に対応するために準大手ゼネコン「高松建設株式会社」及び不動産鑑定会社の「株式会社コスモシステム」と提携しています。会員組合に限らず、組合員企業の皆様も是非、ご活用をご検討ください。

③耳寄り情報のご提供

・「商団連から耳寄り情報のご提供」という形式で、関係諸機関からの各種情報（補助金、セミナー等）を会員組合宛にご提供しています。是非ご活用ください。なお、令和7年度第一四半期は11件の情報をご提供しています。

高松建設株式会社（ゼネコン）のご紹介

※対象エリアは首都圏、近畿圏、中京圏、札幌、仙台、福岡、広島

☆建物建築等を検討している会員組合、組合員企業の皆様 商団連にご相談ください

※高松建設株式会社 概要 ※売上高はグループ合計

（大阪本店）大阪府大阪市淀川区新北野1-2-3

（東京本店）東京都港区芝4-8-2

会社設立1980年11月 売上高3,126億円

HP（高松建設）<https://www.takamatsu-const.co.jp>

（グループ）<https://www.takamatsu-cg.co.jp>

TCG 高松コンストラクショングループ



商団連はゼネコン準大手の「株式会社高松コンストラクション（中核 高松建設株式会社）～東証プライム市場上場」と業務提携をしています。

卸団地制度が創設され60年が経過しました。長い年月の経過により、団地の施設は老朽化、耐震、アスベスト対応など様々な問題が生じております。

例えば、「お見積りを取りたい」「話を聞きたい」「耐震工事を検討している」「遊休地を活用したい」等皆様からのご相談・ご紹介をお待ちしております。（団地内外の物件問わずお問い合わせください。）

株式会社コスモシステム（不動産鑑定会社）のご紹介

※対象エリアは全国一円

☆不動産鑑定評価を検討している会員組合、組合員企業の皆様 商団連にご相談ください

※株式会社コスモシステム概要（HP：<https://cosmoap.co.jp>）

（東京本社）住所：東京都千代田区九段北4-1-3日本ビルディング九段別館10階

TEL：03-6261-2361

商団連は不動産鑑定会社の「株式会社コスモシステム」と業務提携をしています。当社は全国に9拠点を有する全国規模の鑑定事業者で、政府系・メガバンクをはじめとする金融機関の担保評価を多く手掛けている企業です。

※不動産鑑定評価書の活用方法（案）～不動産鑑定評価書はこのような場面でお使いいただけます

○M&Aや事業承継

→保有する不動産の時価を把握する必要があります。その時価を算定する際に不動産鑑定評価が必要となります。

○親族間や同族間での売買や交換

→同族間などの不動産取引では、取引価格に恣意性があると見られやすいため、鑑定評価に基づく適正な価格での取引であることを証明できます。

○固定資産の減損会計処理

→契約の更改に伴い賃貸料の妥当性を検証する。今現在の賃貸料の相場や事例を求め、賃料更改時の交渉材料としてお使いいただけます。

不動産鑑定・調査

COSMOSYSTEM

信頼と実績



詳しくはこちら

2024年度実績 **4** 万件

全国9拠点のネットワーク

札幌 仙台 東京 名古屋 大阪 京都 広島 福岡 松山

お問合せ 東京本社 03-6261-2361（代） 担当 榎本・山野井

◎商団連が窓口となっている補助金のお知らせ

ご利用を検討してみたいかがでしょうか。ご不明な点は商団連事務局にお問い合わせください。

①令和7年度卸商業団地構造変化等対応支援事業
二次公募のご案内（公募期間9月1日～9月30日）

令和7年度「卸商業団地構造変化等対応支援事業」の二次公募は、以下のとおり実施いたします。
公募期間内に応募書類の送付をお願いします。

○公募期間 9月1日（月）～30日（火）（当日消印有効）
（書類審査：10月、選考委員会開催・採択通知：11月）

※一次公募で採択された組合と事業テーマ

会員組合名	テーマ
協同組合青森総合卸センター	卸団地拡張計画検討に向けた基礎的調査
協同組合山形流通団地	更なる魅力に溢れる団地造り～発信とコミュニケーション強化～
協同組合山梨県流通センター	防災・減災対策効果の検証と組合会館再整備の再検討
協同組合福岡卸センター	福岡卸センター地区における土地区画整理事業実現性に関する調査

※ご参考 制度の概要

1 本事業の目的

卸商業団地を取り巻く経済社会構造の変化等に対応し中小卸売業及び卸商業団地の活性化を図るため、卸商業団地における組合施設の建て替え、新規立地への移転、共同事業の再構築、防災・減災機能の向上、GXへの対応及びDXへの対応など、卸商業団地の機能強化と魅力向上のために行う事業の実施に関する調査研究や事業化調査、基本計画・詳細計画の策定等に対して支援することを目的としています。

2 助成対象事業

次の事業を実施するに当たって必要な調査研究、事業化調査、基本計画・詳細計画策定などの費用の一部を助成します。

①重点事業	②拠点機能強化事業
防災・減災機能の向上 GXへの対応（省エネルギーの推進等） DXへの対応（業務のデジタル化等）	組合施設等の老朽化対策、建て替え及び新規立地への移転等、共同事業の見直し・再構築、空き物件の有効活用、行政及び組合員からの要請等に基づく機能強化、その他共同事業の機能強化への対応等

3 助成限度額 1,500万円（下限100万円）

4 助成割合

①重点事業（単独）又は①重点事業＋②拠点機能強化事業	助成対象経費の4／5以内
②拠点機能強化事業	助成対象経費の2／3以内

②制度改正等の課題解決環境整備事業（旧専門家派遣等事業）

商団連では、経済産業省から「中小企業連携組織対策推進事業費補助金」の交付決定を受け、会員組合の様々な課題を解決し適正な事業活動ができる環境を整備するため、専門家を派遣し、講習会を開催する等の費用（講師の謝金・旅費、会場借料、資料印刷代等）を商団連が支援する事業です。令和7年度も前年度に引き続き実施しています。なお、令和6年度は15件の利用がありました。

過年度のテーマは、事業承継、災害対策、働き方改革、労働問題（ハラスメント対応）、女性活躍、DX・IT活用等多岐にわたる分野となっています。

今話題の「生成AIの事業活用事例」や「新規採用・職員定着化」等をテーマに講習会を開催したケースもございます。組合において、専門家を招き講習会等の実施を予定している場合は、ご利用を検討ください。

③事業環境変化対応型支援事業（インボイス制度の導入支援）

商団連では、経済産業省から「事業環境変化対応型支援事業費補助金」の交付決定を受け、令和5年10月から実施の「消費税の適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）」の理解促進を図るための支援を前年度に引き続き実施しています。なお、令和6年度は5件の利用がありました。

インボイス制度の理解促進を図るために講師（税理士等）を招き講習会、個別説明会等の開催を行うものにつき、費用（講師の謝金・旅費、会場借料、資料印刷代等）を支援するものです。なお、今年度から、リモートでの所属組合員に対する個別相談（商団連事務局が税理士を紹介）も可能となりました。ご利用を検討ください。

※商団連事務局から（お願い）

- ・「②制度改正等の課題解決環境整備事業」、「③事業環境変化対応型支援事業」につきましては予算に上限がございます。先着順で受け付けておりますが、制度をご利用される場合は早めのお申込みをお願いします。
- ・今まで当制度を利用したことのない会員組合の皆様もお申込みをご検討ください。

北から南から

～会員組合の皆様の情報をお届けします～

2025春の「卸町ふれあい市」開催

協同組合仙台卸商センター



協同組合仙台卸商センターでは、4月19日（土）・20日（日）の2日間、2025春の「卸町ふれあい市」を盛大に開催しました。初日は夏日を思わせる好天にも恵まれ、2日間を通じて延べ約3万3,000人の皆様にご来場いただき、大変な賑わいとなりました。

今回のふれあい市では、サンフェスタ会場及び各社会場において、約20社の組合員企業が出展。問屋ならではの多彩な商品を取り揃え、特別価格での販売が行われるなど、来場者の皆様にお買い物をお楽しみいただきました。

また、サンフェスタ南側会場には、ご当地グルメや世界の料理を味わえる屋台が並び、食の魅力でもイベントを盛り上げました。

ふれあい広場では、「ふれあい広場テント市」や「はたらく車大集合」、「ダンス・音楽などのステージイベント」など、多彩な催しを開催。お子さまから大人まで、幅広い世代が楽しめる内容で、特にご家族連れで賑わいました。

このほか、サンフェスタ1階ロビーでは「金管アンサンブル」や「フラメンコ」、4階では「吹奏楽演奏」、さらに卸町公園では「ふれあいキッズパーク」が実施され、各会場は多くの笑顔と活気に包まれました。

『春の上州どっと楽市』2日間開催

高崎卸商社街協同組合



高崎卸商社街協同組合では、4月19日（土）・20日（日）の2日間、恒例となった「春の上州どっと楽市」をビエント高崎（ビッグキューブ・問屋町公園）にて盛大に開催しました。

本イベントは、地域住民との交流を図るとともに、卸売業の魅力を広く発信することを目的に開催しており、今回で第36回を迎えました。当日は天候にも恵まれ、延べ1万5,800人もの皆様にご来場いただきました。

今回も問屋街の卸商社はじめ、県内各地から様々な業種の96店舗が出店し、生活雑貨、衣料、食品など多彩な商品が、楽市ならではの価格で販売されるとともに、キッチンカーや地元グルメの屋台も多数並びました。

さらに、ステージでは、津軽三味線演奏やキッズダンス、よさこい演舞、吹奏楽などの多彩なステージイベントが幅広い世代の来場者を魅了したほか、化石発掘、ポニーふれあいなどの体験型ブースは子どもたちに大人気でした。

今後も地域に根ざした団地のにぎわいづくりと業界の活性化を目指し、こうした取り組みを継続してまいります。

放課後児童クラブ、団地内冷凍倉庫工場見学

協同組合ベイタウン尾道



令和7年5月26日（月）、協同組合ベイタウン尾道組合会館内にある高須放課後児童クラブの子どもたち65人が組合の冷凍倉庫を訪れ、工場見学を行いました。

見学では、冷凍倉庫の職員から、取扱高日本一を誇る尾道の「いりこ、ちりめんじゃこ」が、海で水揚げされてから食卓に届くまでの流れや、さまざまな温度帯に分かれた冷凍倉庫の仕組みについて、わかりやすく説明がありました。子どもたちはその話に興味津々で耳を傾けていました。

また、実際にマイナス20℃の冷凍庫に入り、極寒の環境を体験。さらに、フォークリフトやピッキングリフトの操作の様子を間近で見学し、物流の現場について理解を深める機会となりました。

高須放課後児童クラブと協同組合ベイタウン尾道はこれまでもハロウィンやクリスマスなどのイベントを通じた交流を行ってきましたが、今後はこのような職場体験を通じて、子どもたちの「学び」につながる新たな取組も検討中です。

インターン募集とPR動画で魅力発信

協同組合鳥取卸センター



※PR動画をぜひご覧ください

8社ダイジェスト版動画

https://youtu.be/L_s0ST1p7_o

鳥取卸センター求人PR動画

<https://youtu.be/1oRpWoj-1As>

協同組合鳥取卸センターでは、人材確保が社会的課題となる中、次世代を担う若者たちに当組合の魅力を伝えるべく、「インターンシップの実施」と「求人PR動画の公開」という2つの取組を通じて情報発信を進めています。

今夏開催の「鳥取市 de インターン2025夏季Aコース」では、鳥取市役所や鳥取県信用保証協会、日本海ケーブルネットワークなどと連携し、卸センターの組合員企業も多数参加して、業界の理解を深めるグループワークや仕事体験を通じて、地域産業への関心を高める機会を提供します。対象は大学・短大・高校・高専生となりますが、留学生の参加も歓迎しており、地域ぐるみの「ひとつづくり」を後押しします。

また、求人活動の一環として新たに制作したオリジナルPR動画をYouTubeで公開中。オリジナルキャラクターがナビゲートする「ゆっくり解説」形式で、組合員企業の仕事内容や職場の雰囲気を知りやすく紹介しています。本動画は、地元ハローワークや学校のガイダンス等でも活用され、当組合の認知度向上につながることを期待しています。

職業訓練校とのコラボで団地HPを制作

阪神総合卸商業団地協同組合



阪神総合卸商業団地協同組合は、地域のリカレントスクール（職業訓練校）「Webクリエイターコース」と連携し、組合のホームページを同校の授業題材として取り上げていただき、訓練生によるホームページ制作を行いました。

この取組は兵庫県中小企業団体中央会の支援事業の一環として実施されたもので、授業の題材として制作していただくことで、サイト作成費用をかけずに新たなホームページを構築することができました。

当組合では過去にもホームページを運用しておりましたが、数年前に更新を停止しており、広報力の強化が急務と考えていたところ、兵庫県中小企業団体中央会より本事業をご紹介いただき、今回の取組にいたしました。

授業期間は約2か月間。訓練生は4チームに分かれ、各チームが2案ずつデザイン案を作成、中間発表を経てそれぞれ1案に絞り込み、ブラッシュアップを重ねたうえで最終発表を行い、最終的に4案の中から1案を選定いたしました。

完成したホームページは訓練生の熱意と創意工夫が詰まった力作で、想像以上に素晴らしい仕上がりとなりました。特に組合会館をモチーフにした一筆書きのイラストは組合内でも大変好評です。

今後はこの新しいホームページを活用し、団地の魅力や活動をより積極的に情報発信してまいります。

阪神総合卸商業団地協同組合 <http://h-oroshi.com>

第4団地が竣工 新たな物流拠点が本格稼働へ 協同組合静岡流通センター



協同組合静岡流通センターが推進してきた「第4団地整備事業」がこの度造成・分譲を終え、組合員の株式会社小池弥太郎商店（1910年創業の鉄鋼二次製品・伸銅品・建材の総合卸、金属製屋根・壁材の加工販売）の新拠点が令和7年4月に竣工しました。本事業は、中小機構及び静岡県からの支援による「中小企業高度化事業」として実施されたものです。

昭和50年に開設された当流通センターは、県中部の物流拠点として機能してきましたが、施設の老朽化や敷地の不足により、組合員や新規参入希望企業の用地ニーズに応えるのが難しくなっていました。これを受け、組合は団地開発に着手、令和2年には第2団地（約1万5千坪）を開発し、新しい組合員4社が進出。そして翌年の令和3年には第4団地（約6千坪）の整備に取りかかり、官民・金融機関・専門家と連携しながら計画を進めてきました。

新団地は、新東名高速新静岡ICや静岡バイパス、静岡ヘリポート至近の利便性に優れた立地で、「内陸フロンティア推進地域」にも指定されています。

今回の竣工により、地元優良企業の事業拡張と新たな雇用創出が期待され、地域経済への波及効果は大きいものと見込まれます。当組合では今後も、時代の要請に応じた基盤整備により、流通業の発展と地域活性化に貢献してまいります。

会員組合代表者交代のご報告

引き続きよろしくお願いいたします。

会員組合の皆様の令和7年度通常総会が終了し、以下のとおり理事長の皆様のご報告がありました。

(敬称略)

会員組合名	前理事長	新理事長	会社名	業種名
南東北総合卸センター協同組合	佐藤 善彦	岡部 弘幸	株式会社岡部	家庭日用品卸売業、業務用包装資材販売
協同組合沼津卸商社センター	山本 豪彦	木村 安紀夫	木村商事株式会社	食品原材料及び食料品卸売業
協同組合富山問屋センター	長沼 克博	増山 輝	株式会社米三	和洋家具・事務用家具・インテリア関連商品販売
泉州卸商業団地協同組合	奥田 耕策	久納 洋一	株式会社久吾商店	漬物製造・販売、味噌等販売
協同組合米子総合卸センター	松本 啓	山崎 慎也	株式会社やまさき	OA機器・事務用品・日用品雑貨・紙製品等卸売業
協同組合松江流通センター	秀浦 義久	藤原 勝	株式会社藤忠	鋼材・機械器具・電気用品・管工資材等卸売業
協同組合岡山機工センター	岡崎 世作	宮地 敬幸	岡山宮地弘商事株式会社	各種電機製品販売(産業機器・重電・情通・空調・住設機器等)

※令和7年6月30日現在のご報告分を掲載しています。

商団連スケジュールのお知らせ

確定している会議日程をお知らせします。是非ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

○全体

内容	日 付	会場
第2回正副会長会議	令和7年9月9日(火)	商団連会議室
第1回事務局長会議	令和7年9月11日(木) ～9月12日(金)	幹事団地 協同組合長崎卸センター
組合事務局職員研修	令和7年11月7日(金)	調整中
新年賀詞交歓会及び新春セミナー 第2回役員会	令和8年1月22日(木)	全国町村会館
第2回事務局長会世話人会	令和8年1月23日(金)	商団連会議室
福祉共済会幹事会	令和8年3月12日(木)	商団連会議室
第2回事務局長会議	令和8年3月13日(金)	全国町村会館
第3回役員会	令和8年3月26日(木)	調整中
第1回正副会長会議	令和8年4月16日(木)	商団連会議室
第1回役員会	令和8年5月14日(木)	リモート会議
第59回通常総会	令和8年6月23日(火)	ホテルニューオータニ

○ブロック会議

エリア	日 付	幹事団地
北海道ブロック会議	令和7年 9月25日(木)～ 9月26日(金)	協同組合石狩新港卸センター
東北ブロック会議	令和7年10月21日(火)	協同組合秋田卸センター
関東ブロック会議	令和7年11月26日(水)	協同組合前橋問屋センター
中部ブロック会議	令和7年10月17日(金)～10月18日(土)	協同組合津卸商業センター
近畿ブロック会議	令和7年11月20日(木)	大阪メルカート協同組合
中四国ブロック会議	令和7年10月30日(木)	協同組合柳井総合卸センター
九州ブロック会議	令和7年11月27日(木)～11月28日(金)	有田焼卸団地協同組合

「機関紙 商団連」掲載記事募集のご案内(令和8年新春号以降)

当連合会では、機関紙「商団連」の次号(令和8年新春号)以降におきましても、会員組合の皆様の活動や取組を積極的にご紹介してまいります。つきましては、団地内トピックス(例えば、組合行事開催、地元紙での団地組合紹介、特徴のある共同事業、地域貢献の取組等)がございましたら、ぜひ商団連事務局までご一報ください。また、販路開拓事業(組合・組合員企業の皆様の特徴ある商品のご紹介等)についても引き続き募集しております。

本紙を会員間の情報共有やネットワーク強化に資する場といたく考えております。何とぞよろしくお願いいたします。

【編集後記】NHK大河ドラマ「べらぼう」で描かれた天明の浅間山噴火。江戸には大量の火山灰が降り、利根川を餓死者が流れたとか…。まさに“べらぼう”な時代。それでも人々はしっかり商いを続け、笑いも忘れなかったとか。トランプ関税に物価高、それに気候変動。経済も自然も大荒れの現代ですが、私たちもあやかりたいものです。つらい時こそ知恵と連携、そして少しのユーモア。商団連も“べらぼうに頼れる存在”を目指してまいります。(原田)